

経営比較分析表（令和6年度決算）

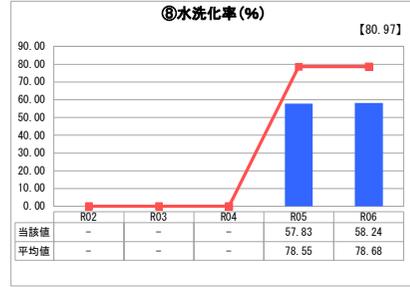
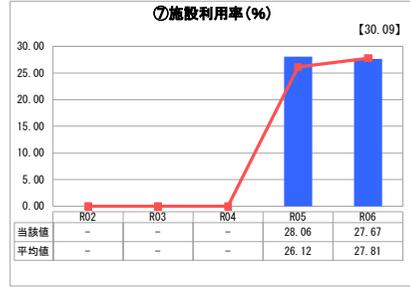
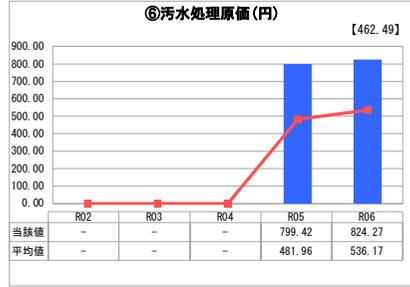
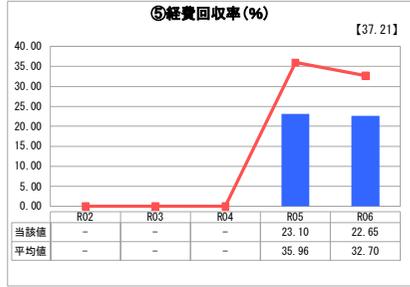
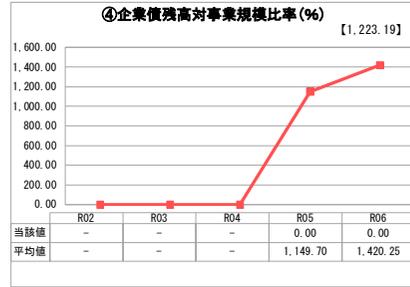
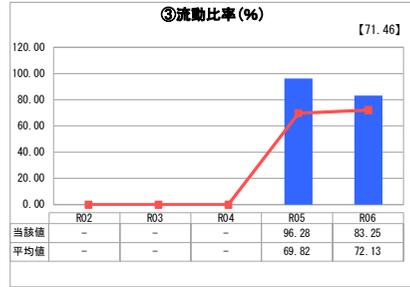
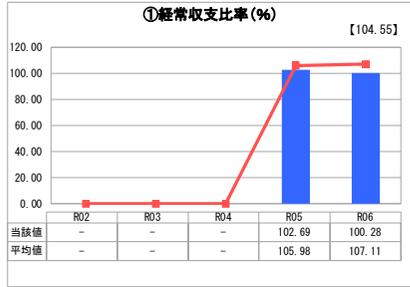
和歌山県 由良町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	漁業集落排水	H2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡当たり家賃料金(円)
-	48.88	25.90	111.42	3,520

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
5,035	30.93	162.79
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,286	0.69	1,863.77

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率
類似団体平均値よりも下回っているが、100%を上回っており経常費用を経常収益で賄えている。

②累積欠損金比率
営業活動による累積した損失はない。

③流動比率
短期的な債務に対して支払う現金等がある。

④企業債残高対事業規模比率
全額一般会計からの繰入で賄っているため、0となっている。

⑤経費回収率
100%を下回っており十分に回収出来ていない。類似団体平均値より大きく下回っており、改善する必要がある。

⑥汚水処理原価
類似団体平均値よりかなり高い数値であり、処理に対する経費が多かっている。

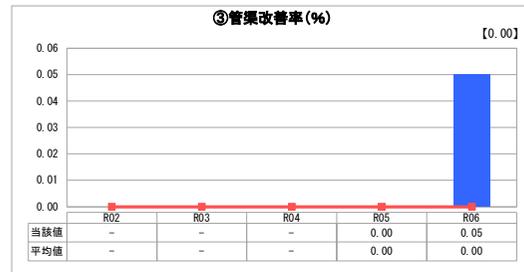
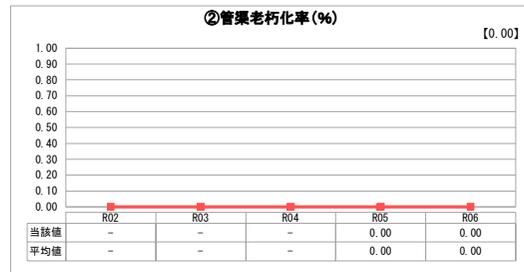
⑦施設利用率
施設利用率は、類似団体と比較して低い。また、1日最大処理量にも対応でき問題はない。

⑧水洗化率
類似団体平均値より大きく下回っており、今後数値を高めていく必要がある。

2. 老朽化の状況について

管路施設は整備開始後24年が経過しているが、管路施設の耐用年数が50年であることから当面大規模な更新は必要無い。

2. 老朽化の状況



全体総括

人口減少の影響で予想される使用料収入の減、将来訪れる施設の耐用年数経過による更新へ備えるため、水洗化率を向上させ使用料収入を増加させなければならない。

また、事業計画時点からの人口減少が著しく、施設利用率が低く推移している。今後は、処理施設の統合等を実施し、経営改善を目指す必要がある。

管理面では施設の点検を適切に行い、不良箇所は適宜修繕することにより大規模修繕とならないよう管理費の節減に努めたい。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。